

財 産 目 録

(注1 〇〇年〇〇月〇〇日現在)

区分・種別	数量	金額	備考	
特別財産	1 宝物 注2 ・ ・ ・ 像ほか2体	3体	/	
	2 什物			
	計			
基本財産	1 境内地 ○筆	注3 〇〇㎡ (坪)	注4 〇〇, 〇〇〇	
	2 境内建物 注5 本堂・庫裏 ほか○棟			
		計		〇〇, 〇〇〇
普通財産	1 預金 注6		〇〇, 〇〇〇	
	2 現金 注7		〇〇, 〇〇〇	
		計		〇〇, 〇〇〇
資産合計 (A)			〇〇, 〇〇〇	
負債				
負債合計 (B)				
正味財産 (C) = (A) - (B)			〇〇, 〇〇〇	

- 注 1 財産目録は、会計年度末現在で作成します。例えば、会計年度が4月から3月である法人は「〇〇〇年3月31日現在」です。
- 2 仏像、神像等の宝物は特別財産として取り扱いますが、作成時に把握されているものを記載してください。また、これらのものは一般的に評価の対象となりませんので評価額の記載は必ずしも必要ありません。
- 3 数量欄には、土地にあつては延べ面積、建物にあつては延床面積、その他の財産にあつては適当な数量単位で記載します。
- 4 金額欄には、原則として取得時の価額を記載します。ただし、取得時の価額がわからない場合は、土地にあつては固定資産課税台帳記載の価格や近傍類似価格又は路線価等を参考に、建物その他の財産にあつては合理的な方法によって法人自身で算定してください。備忘価格として1棟1万円又は1㎡1万円としていただいても結構です。なお、算定が困難な場合は「-」と記載することもやむを得ません。
- 5 境内建物が複数棟あるときは、主な建物を記載し「ほか○棟」と記載してください。
- 6 法人財産として、会計年度末現在に預金・現金があれば残高を記載してください。
- 7 特別財産、基本財産以外に山林などその他財産として管理しているものがあれば記載してください。